

平成 29 年度施政方針

平成 29 年第 1 回定例会

平成 29 年 3 月 2 日
小海町長 新井 寿一

平成 29 年度は、中部横断自動車道が「八千穂高原インター」まで供用開始となります。中部横断道を活用したまちづくりとして、大田団地の宅地分譲開始、林業センターを解体し、小海町の西の玄関口に新たに「小海町観光交流拠点施設」を建設するほか、農産物加工直売所のリニューアルオープン、JRの特別企画「信州デスティネーションキャンペーン」にタイアップした「松原湖高原・白駒の池」の積極的観光戦略の推進、あわせて、平成 28 年度に続き「新海誠監督展」の開催、沿線の景観整備を行い、観光資源をより生かし、町の活性化・観光交流人口の増と定住促進につなげてまいります。

平成 29 年度の主な事業は、造成中の本間大田団地の分譲推進、特別養護老人ホーム美ノ輪荘移転改築に伴う助成と関連道路整備、公衆トイレ 2 箇所の整備、Pポイント事業、道路等支障木除去による景観整備、小海小学校の教育環境整備事業など、若者の定住促進、観光客の受入体制強化、身近な生活環境の整備を推進してまいります。

継続事業につきましては、集落再生支援事業、町道整備、橋梁改修工事を進め、間伐促進、鳥獣被害対策などの農林業の推進、住宅取得助成事業や住宅リフォーム助成事業、プレミアム付商品券発行補助等による商工業の振興、観光の振興など、引き続き、子どもから高齢者まで、全ての町民が健康で明るく暮らせる温かい福祉と医療の町、子育てしやすい町を目指して着実に実施してまいります。

平成 29 年度の予算規模は総額 5,189,270 千円となり、前年度比 203,030 千円、3.8%の減額となりました。

内訳

一般会計	3,680,000千円	(225,000)
国民健康保険事業特別会計	688,000千円	(39,400)
介護保険事業特別会計	658,300千円	(15,000)
後期高齢者医療特別会計	70,770千円	(330)
水道事業会計(収益的収入合計)	92,200千円	(1,900)
農業集落排水特別会計	0千円	(30,200)
合計	5,189,270千円	

次に各款・会計ごとに概要を申し上げます。

歳入予算

町税は、ほぼ前年度並みの 555,109 千円を計上し、地方交付税も、前年度同額の 1,610,000 千円を計上いたしました。

負担金は、中田川活用事業負担金として 37,500 千円を見込み、使用料は、建設中の土村南町住宅の家賃 3,640 千円を計上いたしました。

国庫支出金は、臨時福祉給付金と社会資本整備補助金の大幅な減額により、前年度比 117,613 千円減の 140,921 千円を見込みました。

県支出金は、水源地公有地化補助金と元気づくり支援金を新たに見込み、115,394 千円を計上いたしました。

財産収入は、本間大田団地 19 区画の分譲代金 94,000 千円を計上し、定住促進につなげるべく完売を目指してまいります。

繰入金は、減債基金繰入のほか、大型事業の財源に充てるため、地域振興基金・財政調整基金あわせて 145,877 千円の基金繰入を計上いたしました。

町債は、過疎対策事業債において、ハード事業で 189,000 千円、ソフト事業で 45,000 千円、合計 234,000 千円を計上し、緊急防災・減災事業債を 24,500 千円、地方交付税を補填するための臨時財政対策債を 100,000 千円計上し、町債の合計は前年度比 113,500 千円 24.0%減の 358,500 千円となりました。

歳出予算

議会費

議会費の総額は 67,581 千円を計上し、前年に比べ 0.2%の減額となりました。

主たる要因は、議員共済会給付費負担金の減額によるものです。

内容につきましては、議員報酬、事務局人件費、議会だよりなど議会活動に要する経費のほか、本年度は改選に伴う所要額を計上いたしました。

総務費

総務費の総額は 536,785 千円を計上し、前年に比べ 13.9%の増額となりました。

主たる要因は、大田団地分譲に伴う基金積立金の増額によるものです。

総務管理費では、昨年の子ども議会に引き続き「女性議会」を開催するほか、五箇水源地の取得と公用車 4 台の更新を予定し、空き家対策として対策協議会を設立し、適切な利用と除却のための計画書を取りまとめてまいります。また、公会計基準の改正に伴うシステム整備、サーバー機器更新、防災無線屋外子局を 1 基増設するほか、大田団地の分譲につきましては完売を目指してまいります。

選挙費につきましては、4 月に町議員選挙、平成 30 年 2 月に町長選挙が予定されております。

民生費

民生費の総額は、830,966千円を計上し、前年に比べ12.3%の増額となりました。

主たる要因は、特別養護老人ホーム美ノ輪荘移転改築に伴う助成によるものです。

社会福祉費では、本年度も低所得高齢層への臨時福祉給付金事業を全額国費で行うほか、タクシー利用助成事業は利用枚数の上限を12枚増やし48枚とし、さらに利用しやすい制度に改めます。

児童福祉費では、老朽化してきたプールや遊戯室等の音響の改修を行い、保育環境の改善をはかります。また、本年度から保育所の入所申請や児童手当の申請などの手続きが、オンラインでもできるようになります。

衛生費

衛生費の総額は、359,528千円を計上し、前年に比べ42.0%の減額となりました。

主たる要因は、保健センター改修事業、佐久総合病院本院再構築負担金、南町町営住宅建設事業の減などによるものです。

保健衛生費では、引き続き佐久医療センターの不採算部門や小海分院に対する財政支援を行い、地域医療の充実を図ります。

生活環境費では、草刈久保最終処分場の有効活用を図るため、嵩のある不燃ごみの最終処分を4月から外部に委託します。町営バスにつきましては、中型バス1台、小型バス1台を更新し、引き続き安全運行に努めてまいります。

農林水産費

農林水産費の総額は、197,083千円を計上し、前年に比べ4.8%の増額となりました。

主たる要因は、中田川活用事業の新規工事によるものです。

農業委員会費では、2月から新たに農業委員14名が任命され、さらに農地利用最適化推進委員が2名委嘱されました。

農業振興費では、地方創生推進交付金事業により農産物魅力発信事業として特産品の販売促進に努めてまいります。

農地費では、中田川活用事業について、中部電力から75%の負担金により実施してまいります。

山村振興事業費では、地域おこし協力隊1名を確保し、農産物加工直売所の新装オープンにより売上の増を目指します。

商工費

商工費の総額は、374,405千円を計上し、前年に比べ22.8%の増額となりました。

主たる要因は、小海駅前公衆トイレ設置工事によるものです。

商工業振興費では、新たにPポイント事業による各事業参加者等へのポイント付与分を計上しました。プレミアム付き商品券発行事業補助、住宅リフォーム補助事業、店舗改装支援事業、雇用定住促進事業など商工会と連携し取り組んでまいります。

観光費では、信州デスティネーションキャンペーンに合わせ、地域発元気づくり支援金事業として白駒の池へのシャトルバス及びツアーバスの運行を実施します。

八峰の湯につきましては、健康増進、地域振興、交流人口の増加に寄与することを目的に運営しておりますが、今後も温泉運営委員会と共に経営のあり方を検討し、多くの皆様にご来場いただき、満足いただける施設づくりを目指してまいります。

土木費

土木費の総額は、209,040千円を計上し、前年に比べ39.3%の減額となりました。

主たる要因は 道路橋梁工事の減によるものです。

道路橋梁改良工事では、道路拡幅改良工事につきましては、小倉原線は今年度完了を目指し、新田小海原線及び土村相木線は数年計画により工事を開始し、橋梁修繕は本村橋と島沢橋の補修設計を委託します。

建設関係の県事業につきましては、国道299号道路拡幅改良の継続、馬流居久保沢第1砂防工事の完成、国道141号道路兼用側溝整備、県道川上佐久線の道路拡幅改良の継続、県道松原湖高原線の拡幅改良、芦平土砂災害恒久工事の完成、本間治山災害復旧工事の実施などを強く要望してまいります。

また、中部横断自動車道早期実現につきましては、1kmルート帯、IC概略位置など早期なご提示をしていただき、速やかに環境アセスメントの手続きを進めていただくよう、長野県、山梨県、期成同盟会、郡町村会、南部広域、などと連携を強化し、要望活動を進めてまいります。

消防費

消防費の総額は、154,159千円を計上し、前年に比べ5.3%の減額となりました。

主たる要因は、県の防災無線設備の更新が完了したことによるものです。

非常備消防費では、第1分団の小型動力ポンプ付積載車1台を更新します。

また、無線機や消火栓ホースの更新も行い、災害対策を強化してまいります。

教育費

教育費の総額は、436,311千円を計上し、前年に比べ0.9%の増額となりました。

主たる要因は、小海小学校の改修、及びスケートセンターの改修工事費等の増額によるものです。

小学校費では、小学校が統合して6年目に入ります。築32年が経過した学校校舎の改修を行うほか、多様化する教育課題の中で、引き続き町費加配によるきめ細かな少人数教育と支援、外部アドバイザーによる次世代教育の推進、地域と連携した学校づくりを進めてまいります。

社会教育費では、2年目の北牧楽集館の運営の充実に努めるほか、友好都市大洗町との交流事業を引き続き実施してまいります。また稲子清水観音堂の文化財修繕、平成25年度から計画的に実施してきた緊急避難施設である地区公民館の耐震化工事は、八那池、笠原公民館の2施設の工事を実施し、全て完了します。

美術館では開館20周年を迎え、新海誠監督デビュー15周年企画展を開催いたします。
保健体育費では、ゲートボール場トイレの新設のほか、スケートセンターリンク面の
修繕工事を実施します。

災害復旧費

災害復旧費の総額は、4,000千円を計上し、迅速な復旧工事等に対応してまいります。

公債費

公債費の総額は505,142千円を計上し、前年に比べ10.6%の減額となりました。
起債の償還は、減少傾向が続いています。

国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計予算の総額は688,000千円を計上し、前年に比べ6.1%の
増額となりました。

主たる要因は、保険給付費の増額によるものです。

国民健康保険事業の運営につきましては、医療費が高額化する傾向を踏まえ、医療費
の動向に注視しつつ、平成30年度に予定されている県への統合を見据え、安定的な運
営に努めてまいります。

なお、平成29年度の国保税率につきましては、平成28年所得が確定する5月に、医
療費の動向や近年の情勢を踏まえ、あらためて総合的に検討することといたします。

介護保険事業特別会計

介護保険事業特別会計予算の総額は、658,300千円を計上し、前年に比べ2.3%の増
額となりました。

主たる要因は、居宅介護サービス費の増額によるものです。

介護保険事業は第6期計画の最終年度となりますが、保険給付費はほぼ計画どおりと
なっています。

今年度から一部のサービスが総合事業として移行、開始されますが、引き続き利用者
本位の運営に努めてまいります。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計予算の総額は、ほぼ前年度同額の70,770千円を計上いたし
ました。

引き続き広域連合との連携を図り、安定した制度運営に努めてまいります。

水道事業会計

水道事業会計予算の収益的収入総額は、92,200千円を計上し、前年に比べ2.0%の減
額となりました。

主たる要因は、受託工事収益の減によるものです。

建設改良費では、福山地籍国道ルート配水管整備、松原高原別荘地内配水管敷設替工事等を行います。安全で安価な飲用水の安定供給に努め、長期的視野で健全で安定した水道事業運営を進めてまいります。

最後になりましたが、冒頭で申し上げましたとおり、何事も全ての町民が主役の温かい町づくり、「住んでみたい町、住み続けたい町、そして住んでいて良かったと思う町」を目指してまいります。

その主体は町であります。国・県、佐久広域、南佐久、南部広域など近隣市町村と連携を密にして、信頼関係と協力により、中部横断自動車道早期事業化などより効率的な事業推進により地域住民の生活環境整備、福祉の向上に努めてまいります。

また、保健・福祉・医療現場では、慢性的な人材不足が続いています。ゼロ予算でできる人材確保を関係団体と共に具体化の協議を開始します。

以上、私の所信の一端を述べさせていただきましたが、これまでの間、種を蒔き、芽を出し、花を咲かせ、町民が願う実を結ぶよう努めてまいりました。

新たな事業、今、まだつぼみの事業もございますが、平成 29 年度、集大成として町民の皆様が喜んで、その実を収穫し満足できるよう職員と共に邁進してまいりますので議員各位を始め町民の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げ、施政方針といたします。